

はきはき、にこにこ、こつこつ

菊陽中部小学校(高本浩校長、児童数877人)は、昨年度から引き続き、「はきはき(確かな学力の育成)、にこにこ(豊かな心の育成)、こつこつ(たくましい心身の育成)」を学校目標に掲げ、人権教育を土台とした学校づくりを進めています。児童会活動も盛んで、環境委員会が先月掃除コンクールを行い、掃除が上手になってきているところです。広い廊下を黙って丁寧に拭き上げる「こつこつ」頑張る子どもの姿が増えてきています。これからも主体的に課題解決に取り組む子どもを育てていきます。



黙々と掃除に集中する子ども

木々渴き早天五日水遣れば誘はるるがに雨の落ちくる
田植え終えたった一枚二反半それでも今日は祝いをするか
うつしよの残世の道を今日も行く一人で行かねばならぬ道あり
自家保有の米しか作らぬ人増えて米の神話の崩れてゆきぬ
カマキリは今生まれしか葉の上にかたまり動くうすきみどりの
色違うオスメスの蝶飛び回る今朝も生れて光のなかを

短歌会

夜もすがら「タウエロウエロ」と鳴く蛙 田島 三間
豊富なる命の水や植田澄む 宮川ユキエ
八十路坂転ばぬ程に梅雨ごもり 曾我 育代
つつかれし西瓜に肩を落す夫 曾我トモ子
児も乗りてしらず田植機が進む 紫藤 祥子
朝焼や鴉とび立つ瓜畑 緒方チエ子
夕立の峠降り分けにわたずみ 志賀キヨ子
庭の草十葉だけは残しけり 米山るみ子
噴水の音心地よき鯉の池 吉田 幸子

菊陽句会報

きくよう文芸

寄せ植えのごとき水口余り苗 木村 信子
梅雨明やどこか植音軽やかに 財津 早雪
桃の香や両手で挽ぎぬ初生りを 原野レイ子
梅雨空や灰色キャンバス光さす 寺尾千代子
父の日や野菜の育ち寝められて 高橋 孝子
水たまり蚊の鳴き声が聞えさう 福田 貴子
梅雨明の雲を眼下に秋津島 北川しんじ
睡魔さす夏期講習の最中に 佐藤 澄世

有久 賢治
梅田 國雄
河北 孝一
佐藤せい子
中村トシエ
松本 東亜

人権啓発標語 「知らんぷりは 言葉のない ぼう力だよ」

菊陽南小学校 2年 弓削 遥慎(現在3年生)

「新しい中部小を」



友だちの名前を大切に呼ぶことから

ぼくは、今年、人権委員長になりました。人権委員会では、中部小がより楽しく安心して過ごせる学校になるように、今年度さまざまなことに取り組んでいます。

まず、6月の人権月間には、人権アンケートを実施し、中部小の課題について考えていきました。アンケートで分かった課題を校内人権集会で提案し、そして、中部小が今どんな現状なのかを一人一人が受け止められるようにしました。課題の一つに友だちの名前を呼び捨てやあだ名で呼んでいる人が多く、そのことで傷つき、いやな思いをしている人がいるということが分かりました。ぼくは、以前からずっと友だちを呼び捨てで呼んでいました。呼び捨てで呼んでいることに何も考えたことはありませんでした。小さい頃からお互いに呼び捨てで呼び合っていたのでそれが自分の中では当たり前になっていました。また、中部小には名前呼び方についてのきまりがなく、たくさんの人が呼び捨てをしていました。しかし、今年、人権アン

菊陽中部小学校 6年 近本 紳

ケートを実施して、呼び捨てをされて嫌な人がいることを知って驚きました。名前呼び方について、人権集会で劇にして提案し、中部小全体で考えていきました。みんな、一人一人が真剣に考えてくれたと思います。

その後、代表委員会を開き、各学級で話し合ったことを出し合い、「名前呼び方」に関する学校のきまりをつくっていきました。「人によって態度を変えず、さんやくんやちゃんをつけて、相手の名前を大切に呼ぼう」と決めました。自分たちで決めたこのきまりを、各学級に呼びかけ、中部小の児童一人一人が意識するようにしました。

ぼくは、人権委員長として、この学校の児童一人一人が、まずは友だちの名前を大切に呼ぶことから始めてほしいと思っています。そして、今よりさらにみんなが安心して過ごせる新しい中部小を創っていきたいです。

(先生から)アンケートの実施・集計、そして課題の洗い出しをした上で中部小のみんなに呼びかけ、人権集会や代表委員会をとおして、全校児童で真剣に考える取組ができました。新たな中部小の第一歩を踏み出すことができました。

9月8日は「国際識字デー」です

「国際識字デー」とは「識字」の重要性を世界に訴える日として、1965(昭和40)年にユネスコ(国連教育科学文化機関)が制定した国際デーです。2003(平成15)年から2012(平成24)年にかけては「国連識字の10年」の取り組みがありました。「識字」とは日常生活で用いられる簡単で短い文章を理解して、読み書きができる能力です。世界には貧困、差別、紛争などさまざまな理由で教育を受けられない人たちがたくさんいます。全ての青少年と成人にとって生活の中で直面するさまざまな問題に立ち向かうことができるようになるための基本的な生活能力を獲得するために「識字」は非常に重要であると国連は訴えています。奪われた文字を取り戻す学習は生き方を取り戻す活動です。「識字」という二文字にある意味を考え、社会のありようや人の生き方についてみつめていきましょう。

特設人権相談

相談は無料で秘密は固く守られます。事前の予約は必要ありません。

- 日時 9月2日(月) 午前10時~午後3時
- 場所 菊陽町中央公民館(1階団体事務室)
- 問い合わせ 人権教育・啓発課 ☎(232)2113

